

WinActor[®]
Ver.7.6.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActor Ver.7シリーズは、WinActor Ver.6 シリーズをリメイクした全く新しいWinActorです。Ver.7シリーズでは、最大の特徴である「現場フレンドリー」の思想を一層進化・深化させ、初心者はもちろん上級プログラマにとっても対応可能な、誰もが使いやすいRPAを追求します。

Ver.7.6.1には以下の特徴があります。

- AI連携ライセンス対応
- シナリオ内生成AI利用の拡充
- 英語ライブラリのPython化

1 新機能

本版で追加される機能について説明します。

このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版で利用できます。



この表記がある場合、FL版で利用できます。



この表記がある場合、AL版で利用できます。



この表記がある場合、フル機能版で利用できます。



この表記がある場合、実行版で利用できます。



この表記がある場合、管理実行版で利用できます。

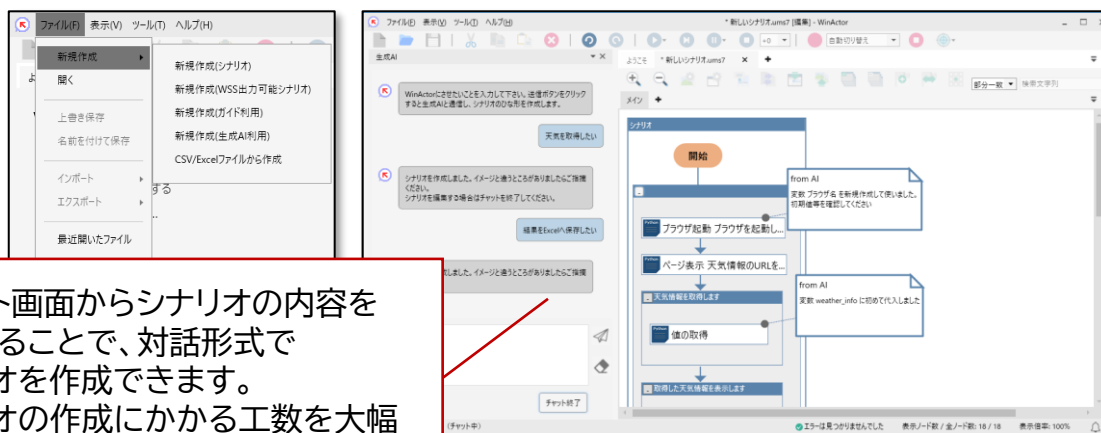
AI連携ライセンス対応

お客様側で生成AIサービスの別途契約をすることなくWinActorの生成AI連携機能を利用いただける「AI連携ライセンス」(AL)を提供します。



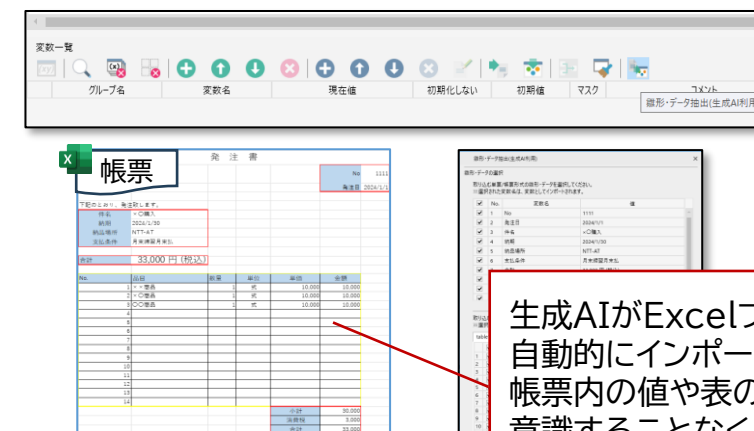
Ver.7.6.1ではAI連携ライセンスに対応し、NTT-ATが契約するAzure OpenAIを通して生成AI連携機能を利用いただけます。

【生成AI連携】対話によるシナリオ作成



チャット画面からシナリオの内容を入力することで、対話形式でシナリオを作成できます。シナリオの作成にかかる工数を大幅に削減し、業務自動化を促進します。

【生成AI連携】帳票操作簡単化



生成AIがExcelファイルを解析し自動的にインポートします。帳票内の値や表のフォーマットを意識することなく、簡単にシナリオ作成できます。

※ NTT-ATが契約するAzure OpenAIは日本国内リージョンのものです。入力したお客様のデータが他のユーザーに使われることはありません。

※ (参考)WinActor ライセンス紹介 - <https://winactor.biz/rpa/winactor-license.html>

※ (参考)WinActor 詳細機能(生成AI連携機能紹介) - <https://winactor.biz/product/winactor v7.html>

AI連携ライセンス - アンケートへのご協力について

生成AIを利用したシナリオ作成の品質向上のため、
アンケート画面が表示されましたらアンケートへのご協力をお願いいたします。



生成AIを利用したシナリオ作成に関するアンケート

生成AIを利用したシナリオ作成の品質向上のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。
送信ボタンをクリックすると、右に表示されている生成AIとのチャット画面で入力いただいた内容と、生成AIが作成したシナリオの情報が、NTTアドバンステクノロジー株式会社管理のサーバに送られます。

作成されたシナリオの満足度を教えてください。(必須)

☒ 全て役に立った

☐ 概ね役に立った

☐ 半分程度役に立った

☐ 役に立たなかった

☐ 全く役に立たなかった

上記の理由やご意見など、ご自由にご記入ください。(任意)

天気を取得したい
2025-08-01 15:20:16.692+09:00

結果をExcelへ保存したい
2025-08-01 15:20:59.577+09:00

アンケートの表示を希望されない場合は、アンケートを表示しない期間を以下から選択してください。
アンケートを送信せずにこのダイアログを開いた場合も、選択した設定が適用されます。

アンケートを毎回表示する ▼

送信

送信せずに閉じる

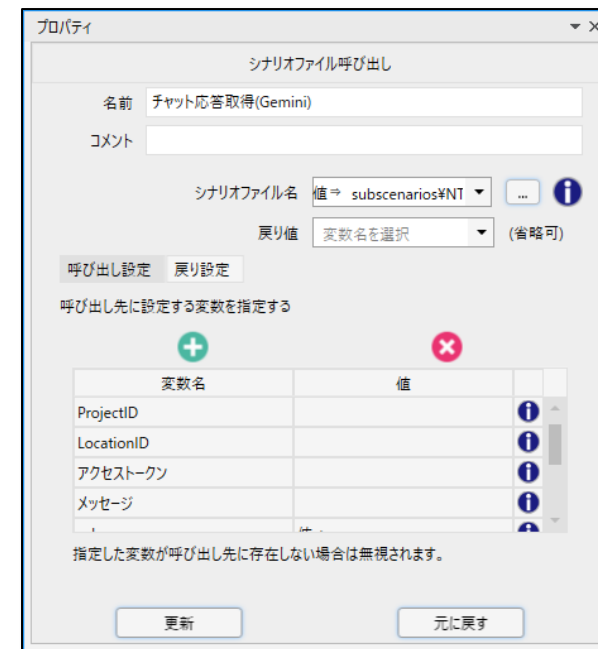
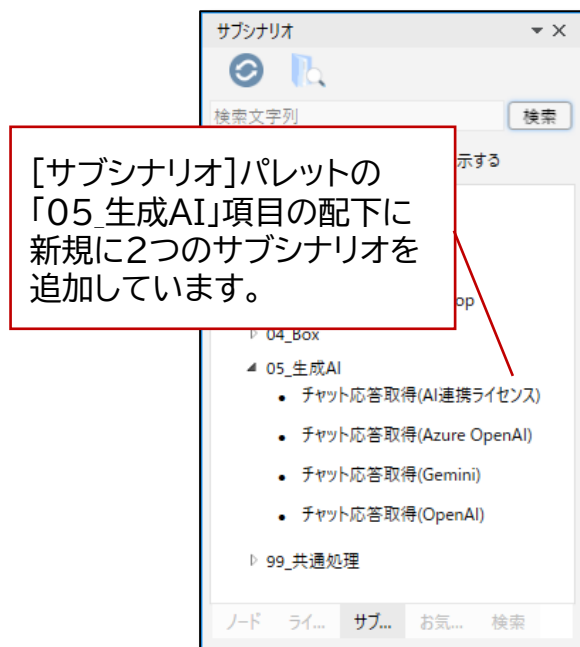
戻る

※ アンケート画面は、AI連携ライセンスが適用されている場合のみ表示されます。

※ 詳細は、同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「1.20.1 生成AIを利用したシナリオ作成に関するアンケート」をご参照ください。

シナリオ内生成AI利用の拡充

AI連携ライセンスで利用可能となるNTT-AT契約のAzure OpenAI、および、Google Geminiと連携するためのサブシナリオを提供します。より幅広い種類の生成AIと連携可能となり、生成AIの柔軟な回答を活かしてこれまでより多くの手作業をWinActorで自動化できるようになります。



※「チャット応答取得(AI連携ライセンス)」サブシナリオはAI連携ライセンスでのみ利用可能です。

※ 詳細は、同梱のサブシナリオサンプル説明書(WinActor_Subscenario_Sample_Manual)の「5.1 チャット応答取得(AI連携ライセンス)」、および、「5.3 チャット応答取得(Gemini)」をご参照ください。

VBScript非推奨化後もWinActorの豊富なライブラリを利用可能とするため、Ver.7.6.1においてPython化した同梱ライブラリ(英語)を提供します。

また、Ver.7.6.0において未提供であった一部のPython化同梱ライブラリ(日本語)も合わせて提供します。

ライブラリ最新化機能により、シナリオファイルに含まれる同梱ライブラリをPython化したものに更新できます。



Python化対応状況

種別	Ver.7.6.0	Ver.7.6.1	次期以降
同梱ライブラリ (日本語)	対応 (一部除く)	対応	対応済み
同梱ライブラリ (英語)	-	対応	対応済み
プチライブラリ／ スイートライブラリ	-	-	対応予定

Ver.7.6.1で提供するPython化同梱ライブラリ

No.	概要	ライブラリ
1	同梱ライブラリ(英語)	英語の同梱ライブラリ全て
2	Ver.7.6.0で未提供 であった同梱ライブラ リ(日本語)	暗号化 復号
3	Ver.7.6.0で 日本語のみ 提供していた同梱 ライブラリ(英語) ※右側には対応する 日本語のライブラリ名 を記載しています。	雛形・データ 表形式指定 ソート 雛形・データ 表形式指定 フィルタリング 雛形・データ 表形式指定 値の取得 雛形・データ 表形式指定 値の設定 雛形・データ 表形式指定 結合 雛形・データ 表形式指定 行または列の削除 雛形・データ 表形式指定 行または列の挿入 雛形・データ 表形式指定 重複データ削除

2 改善に伴う注意事項

Ver.7.6.1で行った改善に伴う注意事項について説明します。

WinActorライブラリのPython化に伴う注意事項

VBScriptとPythonの仕様の違いに伴う注意事項を再掲します。

No.	注意事項	概要	WinActorライブラリ
1	数値の精度	Python化により数値の扱える桁数が多くなっています。 VBScript上での計算結果と完全には一致しないことがあります が、多くの場合シナリオの実行に影響はありません。	剰余演算 税込金額計算 通貨型四則演算 数値の書式変換
2	エラーメッセージ	VBScriptとPythonの処理系から出力されるエラーメッセージに 差分が生じます。	全てのライブラリ
3	正規表現	VBScriptとPythonの正規表現に細かな差分があります。多くの 場合影響はありませんが、詳細については以下をご参照ください。 https://docs.python.org/ja/3.12/library/re.html	正規表現(文字列存在確認) 正規表現(文字列置換) 正規表現(文字列抽出)
4	変数を他のスクリプト実行アクションと共有する	VBScriptとPythonの間にて変数を共有することはできません。 変数の共有を利用する場合には、WinActorライブラリをVBScriptまたはPythonのいずれかに統一してください。	03_変数/02_辞書と配列/ 配下ライブラリ

Ver.7.6.0のリリースノート記載事項

Ver.7.6.1で解消した事項

Ver.7.6.0のリリースノートに記載しましたVBScriptとPythonの仕様の違いに伴う注意事項のうち、Ver.7.6.1にて解消したものを記載します。

該当するライブラリを利用のお客様は必要に応じて当該ライブラリを更新してください。

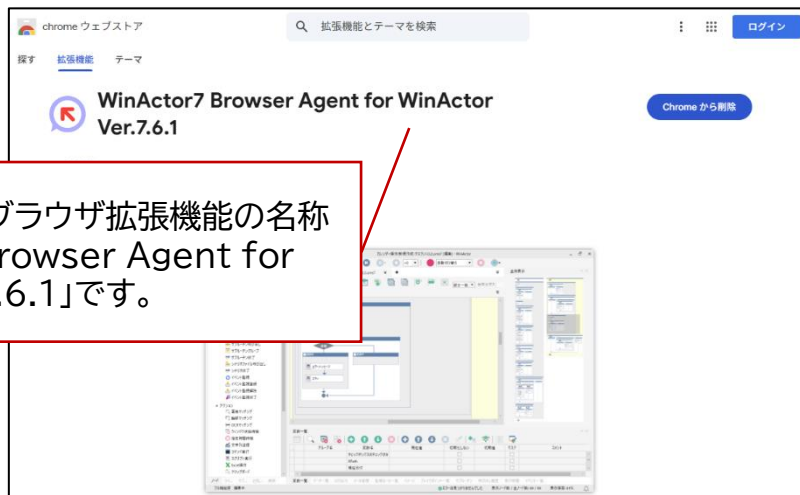
No.	注意事項	概要	WinActorライブラリ
1	Excelから取得される値 (Ver.7.6.1にて解消)	Excelの値をvalue指定でWinActorへ取得した際に、整数の値の末尾に「.0」が付与されます。 多くの場合シナリオの実行に影響はありません。	Excel操作(値の取得) Excel操作(値の取得2) Excel操作(行の読み取り) Excel操作(列の読み取り) Excel操作(アクティブセルから 指定位置の値取得) 雛形・データ 読み取り

ブラウザ拡張機能の利用に関する注意事項

■ ブラウザ拡張機能の再導入のお願い

Ver.7.6.1では新規にブラウザ拡張機能を用意しています。

そのため、Ver.7.6.0以前のバージョンでブラウザ拡張機能を導入していた環境においても、Ver.7.6.1でWebブラウザの自動記録や自動操作(ブラウザ拡張機能使用)の機能を利用する場合は改めてブラウザ拡張機能の導入をお願いいたします。



Ver.7.6.1向けのブラウザ拡張機能の名称は「WinActor7 Browser Agent for WinActor Ver.7.6.1」です。



Ver.7.6.0以前のバージョンで導入したブラウザ拡張機能は残ったままでも問題ありません。WinActorのバージョンアップ後不要になりましたら、マニュアルを参照してアンインストールしてください。

※ Ver.7.6.1より前のバージョンの WinActor を使用される方も、新しいブラウザ拡張機能を利用可能です。

※ ブラウザ拡張機能の導入方法およびアンインストール方法については、Edge/Chromeは「Chrome拡張機能インストールマニュアル」、Firefoxは「Firefox拡張機能インストールマニュアル」をそれぞれご参照ください。

3 改善・要望の一覧

Ver.7.6.1で行った改善・要望の一覧について説明します。

Ver.7.6.1にて行った改善の一覧(21件)は
「WinActor_v761_改善の一覧.pdf」
に記載しています。

Ver.7.6.1にて対応した要望の一覧(4件)は
「WinActor_v761_要望の一覧.pdf」
に記載しています。

また、上記一覧とは別に、WinActorで表示するメッセージおよびマニュアルの内容がより読みやすく、
分かりやすくなるよう文言・表現を見直しました。

WinActor[®] Ver.7.6.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2025 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-L-0919

お客様と共に進化し続けるバリューパートナー

お客様に真摯に向き合い、時流を読みながら常に革新的なご提案を行い、
新しい価値を生み出し続けるパートナーでありたい、それが私たちの目指す姿です。

